

2020年度前期授業（講義科目）の実施方法について

2020年4月27日

京都薬科大学長 後藤直正

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴い、本学では4月6日から2020年度前期授業（講義科目）は収録講義の配信により進めてまいりました。

COVID-19の拡大の収束傾向によって、可能な限り早期に対面での授業を再開したく準備を進めておりましたが、事態の収束が見通せない状況にあるため、今般、下記のとおり前期講義科目を収録講義の配信により実施することとしましたのでお知らせします。

学生の皆さんにおかれましては、健康状態に十分留意するとともに、薬学部学生として、引き続き感染の拡大防止に協力するようお願いいたします。

感染が収束し、1日も早く本学キャンパスで皆さんとお会いでき、またともに学べる日がくることを願っています。

記

1. 2020年度前期講義科目の実施方法について

原則、全ての講義科目を収録講義の配信（オンデマンド型）により実施します。

実施方法の変更に伴い、シラバス等で示した授業内容が変更になることがあります。シラバス等の内容の変更については、manaba内の各科目コースでお知らせします。

早期体験学習、基礎演習等の演習科目は一部の収録・配信可能な内容を除き、実施を延期します。

2. 講義科目以外の科目の実施について

講義科目以外の前期授業科目の実施については、方針を決定し次第、追って連絡いたします。

実習科目（学内）については、事態の収束が見込めた場合、6月頃から感染防止対策を講じたうえで、実施したいと考えています。

以上